

デス・ベンジェンス (1982)

DEATH VENGEANCE
FIGHTING BACK

メディア 映画

ジャンル アクション 犯罪

製作国 アメリカ

時間 88分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

治安の良くない町で食品店を営む男が、家族が暴漢に襲われ負傷したのをきっかけに自警団を組織した。男は持ち前の責任感と行動力で地区の人々から信頼を得るが、犯罪に対する憤怒から自警団の活動はエスカレートしてゆく。劇画調の物語がテンポよく描かれる前半が面白いが、後半に入って主人公が英雄に祭り上げられ、市議会議員選挙に出馬するまでになるとすっかり白けてしまう。どうせやるならC・ブロンソン主演の「デス・ウィッシュ」シリーズのように最初から最後まで劇画タッチで突っ走って欲しかった。自警団の活動に力を入れるあまり家庭をないがしろにして夫婦の仲が悪くなったりするが、特に何もしないまま元に戻っていたり、活動に疑問を持った幼なじみが殺されても自警団の活動をもう一度見直してみることもないなど納得いかない点も目につく。

【クレジット】

監督	ルイス・ティーグ	Lewis Teague	
製作	コンスタンティン・D・コンテ	Constantine D. Conte	
	デヴィッド・パーマツ	David Permut	
製作総指揮	ディノ・デ・ラウレンティス	Dino De Laurentiis	
脚本	トム・ヘドリー	Tom Hedley	
	デヴィッド・Z・グッドマン	David Z. Goodman	
撮影	フランコ・ディ・ジャコモ	Franco Di Giacomo	
音楽	ピエロ・ピッチオーニ	Piero Piccioni	
出演	トム・スケリット	Tom Skerritt	ジョン・ダンジェロ
	パティ・ルポーン	Patti LuPone	リサ・ダンジェロ
	マイケル・サラザン	Michael Sarrazin	ヴィンス・モレリ
	ヤフェット・コッター	Yaphet Kotto	アイヴァンホー・ワシントン
	デヴィッド・ラッシュ	David Rasche	マイケル・テイラー